

まちづくり市民懇話会

とことん懇話会

現地とオンラインで
同時開催!

TOPICS

第20回目は、これまでの議論をどのように基本計画に反映するのか、全体像を共有するとともに、協働の仕組みや取り組み方等については、さらに議論を重ね、より具体的な行動に移していけるよう進め方について意見交換しました。



とことん1

到達目標 基本計画の整理（特に重点施策や指標の設定）について、共有しましょう。

これまで議論を重ねてきた次期総合計画 施策体系（基本目標－個別目標－個別目標の方向性）とまちづくり市民懇話会における議論の資料を踏まえ、どのように基本計画に反映するのか、全体像を共有するとともに、基本計画（見開きページのイメージ）を提示し、反映方法について共有しました。

【基本計画への反映について】
基本計画の個別目標ごとの整理（右図に示す、見開きページ）に、**個別目標の方向性**や**各主体の役割分担**などをひもづけます。

- ・みんなできぞう値
 - ・個別目標の方向性
 - ・想定される公民の役割分担
- などに、整理・反映

基本目標 岸和田の次世代を育むまち

個別目標 安心して子どもを生み、育てられている

子どもを育てやすい環境を整えることにより、妊娠や乳幼児の健康が保たれ、妊娠を望む家庭や子育て家庭の精神的負担や経済的負担が軽減している状態をめざします。

現状と課題

近年、少子化が進行しており、調査対象市①・母子保健などにおける出生率は大きく低下しています。また、学童・私立保育園や児童館など保育施設などハイリスク軽減・出席の増加が見られます。

また、高齢化、都市化の影響から、家庭の子育て機能や地域社会のつながりは弱まる傾向にあり、子育てに不安を抱きつつも相談する相手が身近になく、子どもを抱えて孤立化する傾向が増えています。

そのため、子育てに関する情報発信や安心して子どもを育てられる環境づくりが求められています。

目標	現状値	めざす値(目標値)	関連する個別目標の方向性
5歳未満死亡率・乳児死亡率	(●●年)	(●●年)	方向性①
健康診断受診率	(●●年)	(●●年)	方向性①
子育て相談の解決件数	(●●年)	(●●年)	方向性②
相談件数・支援費	(●●年)	(●●年)	方向性②
高校子育て支援センターの利用率	16,513人(2017年)	(●●年)	方向性②

関連する個別計画

- 第4次岸和田市地域振興計画・地域福祉活動推進計画(2017～2021年)
- 第2期岸和田市子ども子育て支援事業計画(2020～2024年)
- 第6期岸和田市健康福祉計画・第2期岸和田市健康福祉推進計画(2021～2025年)
- 岸和田市保健福祉つづきプラン(2017～2024年)
- 岸和田市子育て支援推進計画(2019～2024年度)
- 第2次岸和田市総合計画(2019～2024年度)

関連するSDGs目標(アイコン)

3. 健康と福祉

5. ジェンダー平等

8. 働きがいと経済成長

10. 人や国を超えて公正な社会を築く

11. 持続可能な都市とコミュニティ

17. パートナーシップ

基本計画（見開きページ）のイメージ

■ 開催概要

第20回：令和3年 12月12日（日）

場 所：岸和田市立福祉総合センター

参 加 者：市 民：現地 7名 オンライン 5名

若手職員：現地 10名

桃山学院大学：学生 4名

議 題：1. 基本計画の整理について

2. 今後、具体的なアクションを動かしていくための進め方について

3. 次回に向けて

とことん1

到達目標 今後、具体的なアクションを動かしていくための進め方について意見交換しましょう

これまで議論してきた具体的なアクションについて、より具体的な行動に移していくには、『**ものごとを自分ごと化していくこと**』が**重要**という意見がありました。そこで、取組に対して、どのような役割をもち、どのような行動ができるのか、“自分ごと”として行動に移せるよう、それぞれが実践し、実践を通じて自身の関わりを実感してもらうため、誰しもにとって必要で重要な『**防災**』を**テーマ**に、意見交換しました。

以下は、議論内容の一部抜粋です。自身が興味のある・必要と感じる具体的な取組について考え、取組とその取組を選んだ理由などをみんなと共有しながら意見交換しました。

テーマ	取組内容	理由	個別の取組に対する意見・アドバイス
家族のルール	●時系列に沿って取組を検証する必要がある。 ●家族で、時間（午前9時、午後3時）と場所を決めている。	●家にいる時間が少ない。	●学校に行く途中等の対策、時間帯を考慮した集合場所を考えたい。
子ども／教育	●子どもだけでどこまで対応できるか1人でやらせてみる。	●災害発生時に家族が一緒ではない場合もあるので、個人個人が自身の身を守るように準備する。 ●子ども自身でも考えさせる。	
地域のルール	●高齢者・障害者の安否確認方法の周知・徹底	●地域が一番情報を持っているので、まずは地域・町会で対応する。	●平常時の行政と市民のタイアップが必要
情報伝達	●災害用伝言板の活用方法を確認	●家族全員が携帯電話を持っているが、災害時に携帯電話がつかなくなる可能性がある。 ●災害時にきちんと使えるように、平常時から災害用伝言板の使い方を確認しておく。	
備蓄	●枕元にヘルメット、懐中電灯、ラジオ、安全靴の準備	●寝ていてもすぐに逃げられるようにするため。	●建物や家具等の倒壊により身動きが取れなくなったときに備え、枕元に笛もあるとよいと聞く。 ●靴を用意するのは大事

とことん2

懇話会後の参加市民・若手職員からの感想です



- それぞれの防災アイデアの共有が出来て、これまで持っていた視点以外で物事を考えることができて良かった。
- 皆さんの意見で、参考になったことを実行していきたい。
- 自分では、思いつかなかった災害発生時の外での避難方法、災害が発生してからの過ごし方、他に東日本大震災や阪神淡路大震災、熊本地震など被災した現場を自分で見ることや、話を聞くことが大切だなと感じました。



など

■ 今後の予定

【第21回】 令和3年 12月 26日（日） ➡ 具体的なアクションの検討（個人・複数人で関わる取組等について）

【第22回】 令和4年 1月 16日（日） ➡ 具体的なアクションの検討（取組の経過発表及び実施による成果・課題について）

【第23回】 令和4年 1月 30日（日） ➡ 基本構想素案、基本計画骨子案等について

書面開催

お問い合わせ：岸和田市役所 総合政策部企画課 政策担当 (tel. 072-423-9492)